

の高い集団保育サービスを提供するため、来年度、葛原、大滝の両施設を廃止し、新たに秋田県北部老人福祉総合エリア内の「ふれあいセンターやまびこ」で保育事業を開始することで合意に至りました。本定例会に係る関係条例の一部改正案と施設の改修に係る工事費等の補正予算案を提出しています。

19年度の市税等の収納状況と未収債権対策

19年度分の一般税は、約86億4700万円が納付され、前年度比約9億2600万円の増となりましたが、伸び分のうち、5億4700万円は税源移譲によるもので、収納率は前年度を0・07ポイント下回る98・11%。滞納繰越分を合わせた未納残高は、前年度比約5800万円増の6億3600万円余りとなりました。

また、国保税は、収納額が前年度比5000万円増の約2億3900万円、収納率は前年度を0・05ポイント上回る93・93%。滞納繰越分を合わせた未納残高は、前年度比約3100万円増の6億3500万円余りとなりました。

速報値の比較で、一般税及び国保税の19年度分の収納率は、県内13市中2番目に高い率となっています。

次に、市税の滞納対策は、休日納付・納税相談窓口を開設して効果を上げているほか、悪質なケースを中心に、新たに動産や自動車の差し押さえも行い、タイヤロック装置も準備しています。

一方、税外収入金は、一般会計、特別会計を合わせた収納率が前年度を0・0

8ポイント下回る98・51%、滞納繰越分を合わせた未収残高は、前年度比約56万円増の約1億300万円となりました。企業会計の収納率は、前年度を0・93ポイント上回る96・09%、滞納繰越分を合わせた未収残高は、前年度比2800万円減の約2億8500万円、税外収入金全体の未収債権額は、約3億8800万円です。

これらの税外未収債権の処理を担当するため、昨年10月に「特別滞納対策室」を設置して、裁判所による「支払督促」や「少額訴訟」なども念頭においた厳格な対応で徴収実績を徐々に上げています。今後も債権整理を強力に進めます。

公共交通対策

路線バスを取り巻く環境が、利用者数の減少や燃料などの高騰のため大変厳しくなっているなか、県では平成22年4月をめどに補助基準の見直しを行うため、現行の路線をこのまま維持していくことは、困難な状況であると考えています。市では、効率化や乗車率向上を図るため、全路線バスの運行状況を精査し、重複している路線の統合や減便、ルート変更等の再編を検討してきました。



さわやかみなみ号

8月1日には、この再編

計画案を大館市地域公共交通会議で審議し、来年4月からの運行を目指し、運行ダイヤなどの最終調整や運輸局への申請準備を進めています。

一方、市が運営している二井田・真中地区コミュニティバスも、地域と十分に協議しながら見直しを行い、冬期間の南中学校への延伸を図るとともに、10月1日からの料金の値上げを了承していただいています。

今後も公共交通を取り巻く環境の変化は予断を許さない状況にあることから、市民の足の確保に向け必要な改革を断行します。

学校施設の耐震対策

18年度からの3カ年で計画的に進めている学校施設の耐震診断は、本年度も桂城小学校と城南小学校で実施し、12月中旬の完了を目指しています。



花岡小学校 南校舎



花岡中学校 管理棟

また、改築を進めてきた花岡小、中学校は、花岡中学校が7月29日に、花岡小学校が8月6日に工事を完了しました。引越し作業なども、生徒や保護者のご協力を得ながら夏休み中に終了し、子供たちが安心して授業を受けられる環境が整っています。

このほか、昨年度実施した耐震診断で早急に対応する必要があるとされた校舎の補強工事は、田代中学校が9月25日に、比内中学校が12月25日に完了する予定となっています。その他の補強工事も、今後、優先度を考慮し、年次計画を立てながら順次進めます。

大館市環境マネジメントシステムの登録維持

7月に審査登録機関の維持審査と臨時審査を受審しました。審査員からは、設定した目標が計画どおりに達成されていること、市内企業へのISO14001の普及に貢献していること、「Jでん」、「ペットボトルキャップ」、「廃食用油」の回収などの事業を展開していることなどが高く評価され、ISO規格に適合しているとの判定を受けました。

そのほかの報告

- ・ 大館市自殺予防対策協議会の設置
- ・ 大館能代空港開港10周年記念感謝祭
- ・ 夏季イベントの開催報告
- ・ 大館市生活排水処理施設整備構想の見直し
- ・ 公共事業の進捗状況
- ・ 平成19年度財政の健全化判断比率等